



西小だより

田布施西小学校
学校便り
令和4年 5月号

西小の子どもたちの「今」から見えるものは…

早いもので、いつの間にか5月を迎えようとしています。本当に時が過ぎるのは早いものです。だからこそ、「今」をかけがえのないものとして大切に過ごしていきたいものです。また、このスタートの時期は、いつもに加えて、この時期だからこそ大切にするといいこと、大切にしなければならないこともあります。

右の写真は、今朝(4/26)の6年生の下足箱です。全員の子どもの靴のかかところがきれいに揃っているのが見えますでしょうか。写真は6年生ですが、そ

その他の学年も実にきれいに揃えられています。朝だけでなく、1日を通して、ほとんどこのようにきれいに揃っています。私は、本当に素敵なことだと感心しています。これは、西小で「今」あたりまえのように見えている景色の一つですが、このあたりまえの景色から、たくさんのごことが見えてきます。私に見えている中から、3つをお伝えいたします。



1 家庭や地域の教育力

「しつけの三原則」といわれます。簡単に言えば「①あいさつ②返事③そろえる」です。家庭や地域の中で丁寧に育てていただいていることが伝わってきます。ありがとうございます。

2 日々の努力の積み重ね

「いつも」ですから、簡単なことではありません。先生方のこれまでの根気強い言葉がけと、心がけようとする子どもたちの日々の努力が、「あたりまえ」のレベルを高めてくれています。感謝しています。

3 子ども一人一人の期待感

「頑張ろう!」という気持ちが、どの子も高まっているのがこの時期です。すべての子どもたちが前向きに取り組もうとしてくれる、その「心」がうれしいですね。



特に、6年生は、一斉下校のときにも、教室出発から運動場への整列まで、実に静かに整然と並んでくれています。毎回です。本当にすばらしい姿で、下級生のお手本になっています。私たちも、この子どもたちの「今」から見えることや子どもたちの「今」の気持ちを見逃すことなく大切にして、西小の風土となっていくように、皆様方と共に支えていきたいと思ひます。